

(9) 中国



中国地域では、景気は緩やかに持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は緩やかに持ち直している。
- ・ 個人消費はこのところ持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は緩やかに持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)。

前回からの主要変更点

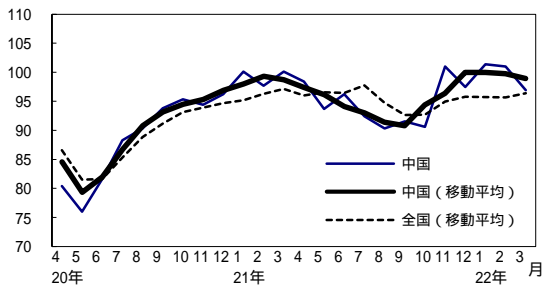
	前回(令和4年3月)	今回(令和4年6月)	
景況判断	持ち直しの動きとなっているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる	緩やかに持ち直している	
個人消費	このところ持ち直しに足踏みがみられる	このところ持ち直しの動きがみられる	
雇用情勢	感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等は緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は緩やかに持ち直している。

1 - 3月期の鉱工業生産は、汎用・生産用・業務用機械はボイラ部品・付属品等が増加したこと、輸送機械は普通乗用車等が増加したこと等により、前期比3.5%増となった。

鉱工業生産指数



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10 - 12 月期	1 - 3 月期	1月	2月	3月
輸送機械	23.2	27.3	5.2	7.7	12.9	11.4
汎用・生産用・業務用機械	13.3	6.0	6.3	9.4	5.9	14.6
化学	12.2	9.5	5.1	5.3	16.3	9.5
電子部品・デバイス	8.8	1.2	4.5	1.7	1.6	2.4
食料品・たばこ	6.8	5.1	2.0	3.7	3.9	3.9
鉱工業	100.0	5.5	3.5	4.0	0.4	4.1

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。中国の最新月は速報値。
2. 全国及び中国の大線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 1 - 3月期、3月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費はこのところ持ち直しの動きがみられる。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

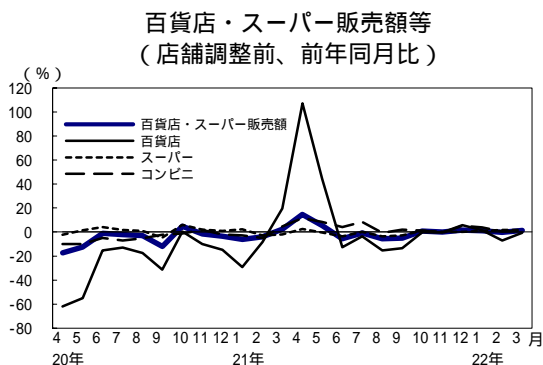
1 - 3月期は前期比0.9%増となった。月別にみると、1月は前月比0.5%減、2月は同0.2%減、3月は同1.5%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、1 - 3月期は前年同期比0.7%増となった。月別にみると、1月は前年同月比1.1%増、2月は同0.2%減、3月は同1.2%増となった。

百貨店は、1 - 3月期は前年同期比2.0%減となった。

スーパーは、1 - 3月期は同1.5%増となった。



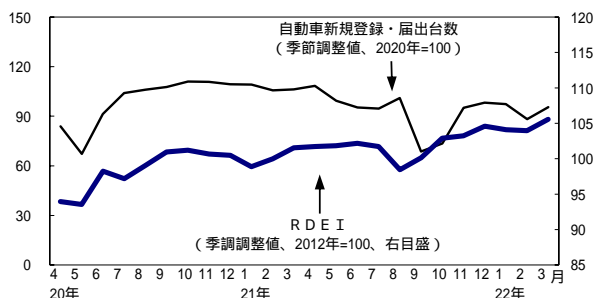
	2022年1-3月	2022年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	0.9	0.5	0.2	1.5
百貨店・スーパー(*2)	0.7	1.1	0.2	1.2
百貨店(*2)	2.0	1.5	7.1	0.8
スーパー(*2)	1.5	1.0	1.8	1.8
コンビニ(*2)	1.7	3.8	0.5	0.8
乗用車(*3)	17.6	15.4	21.0	16.5
(季節調整値)(*3)	5.4	0.9	9.3	8.2

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

3. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比(%))

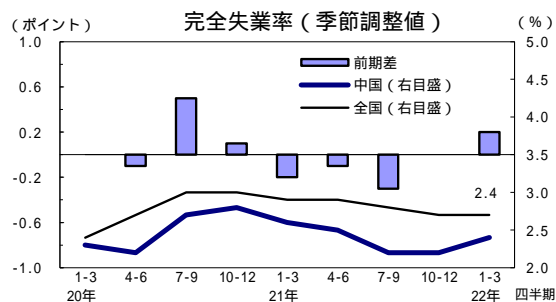
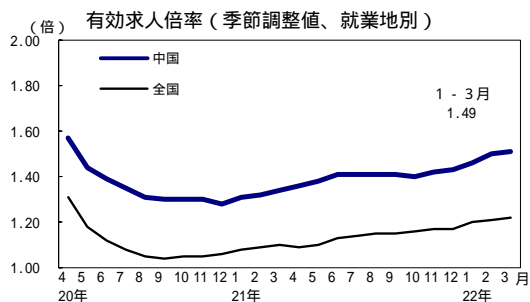
RDEI (消費) と自動車新規登録・届出台数の推移



3. 雇用情勢

雇用情勢は緩やかに持ち直している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を上回っている。



(備考) 内閣府にて季節調整。

(13) 景気ウォッチャー調査 (令和4年4月調査) 景気判断理由の概要

9. 中国

(良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

分野		判断	判断の理由
現状	家計 動向 関連		・そろそろ新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きそうであるが、客はまだ不安感があり、旅行ができる状況ではない(旅行代理店)
			・新型コロナウイルスの感染状況は大幅な改善はないものの、来客数に関しては前年を超える状況で、3か月前より改善している(百貨店)
			・新車生産スケジュールが伸びているため、購入を見送る客が見受けられる(乗用車販売店)
	企業 動向 関連		・海外向け需要は復調傾向にあるが、国内需要は低調である(輸送業)
		・原材料、原油、物流費、資材等の価格高騰により、4月に入って商品の値上げをしており、景気は悪くなっている(食料品製造業)	
雇用 関連		・企業の採用意欲は高く、取引先の大手企業の設備投資に伴い、下請中小企業も増員で対応をしようとしている。一方で、採用の見直しや求人の取消しも一定数ある(民間職業紹介機関)	
		・中途採用、新卒採用共に積極的に採用活動をしている企業が目立つ(求人情報誌製作会社)	
その他の特徴 コメント			：イベントの再開や観光客の増加で、週末の来客数が増加している(コンビニ) ：当社の客は定期的に来店するが、飛び込み客の来場が増えていない(乗用車販売店)
先行き	家計 動向 関連		・正直、先のことは分からない。先行予約がまだまだである(観光型ホテル)
			・客は新型コロナウイルスの感染状況に慣れつつあるのか、感染者数が高止まりの状況でも、以前ほど自粛している様子はない。よほど増加するか、国や県からの制限がない限り来客数は改善する(一般レストラン)
	企業 動向 関連		・コロナ禍や半導体不足、ウクライナ情勢など、景気が好転する要素はないが、金属価格の高値推移でプラスマイナスゼロを想定している(非鉄金属製造業)
			・建築工事で新築物件の引き合いが減少傾向である。少額のリフォーム案件の受注量も改善傾向にない(建設業)
雇用 関連		・しばらく様子見の状況が続くが、円安は地域の製造業には好影響である(新聞社[求人広告])	
その他の特徴 コメント			：まん延防止等重点措置が解除され、人材不足もあいまって今後も採用ニーズは高まる(人材派遣会社) ：ロシアのウクライナ侵攻、円安等により、石油製品、原材料、輸送コスト等の値上げの要求が増えており、インフレが進んで今後の収益が悪化する可能性がある(木材木製品製造業)

(D I) 現状・先行き判断D I (中国)の推移(季節調整値)

